

2021年12月10日 第3373回例会

於： 横須賀商工会議所

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> * 神奈川歯科大学歯学部

臨床科学系医科学講座 認知症・高齢者総合内科 教授 眞鍋 雄太 様

<ビジター紹介> * 横須賀北ロータリークラブ

福嶋 義信 様

<新会員入会式> * 杉浦 浩子 会員



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<会長報告> * 2021-2022年度国際ロータリーゾーン1
A, 2 & 3 ロータリー研究会

第50回記念講演会 報告

<幹事報告> * ガバナー月信 No. 6

* 週報・横須賀西RC・横須賀南西RCより受領

* 例会終了後 第6回理事役員会開催(例会場)



<出席報告> * 出席委員会 猿丸副委員長より12月10日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	110名	78名(7名)	32名	5名	75.45%

<ニコニコ報告>

- ・ 福嶋 義信 様 (横須賀北RC) いつもお世話になります。
- ・ 三 役 神奈川歯科大学歯学部 臨床科学系医科学講座認知症高齢者総合内科教授 眞鍋雄太様
ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。
- ・ 長谷川、比 護、梁 井、新倉 健、小山 健、松本 剛、江 口、小 平、二 瓶、
福 西、勝 間、中村 備、猿 丸、江 沢、植 田、上 林、前 川、高橋 健、後 藤、
波 島、藤 村、岩 崎、齋藤 健、飯 塚、田 邊、長 尾、杵 渕、小山 健 各会員
神奈川歯科大学歯学部 臨床科学系医科学講座認知症高齢者総合内科教授 眞鍋雄太様、
ようこそお出で下さいました。本日の卓話楽しみにしています。
- ・ 八 巻、大 石、齋藤 健、新倉 健、北 村、小林 健、福 西、中村 備、
鷲 尾、前 川、高橋 健、飯 塚、田 邊、鈴木 健、八 木 各会員
横須賀北ロータリークラブ福嶋義信様、ようこそお出で下さいました。例会をお楽し
みください。
- ・ 鈴木 健、来 生 両会員 誕生月祝いとして
- ・ 田 邊、澤 田、鈴木 健 各会員 入会月祝いとして
- ・ 三 役 杉浦会員、横須賀RCにご入会おめでとうございませう。共にロータリーライフを楽しみ
ませう。
- ・ 大野 健、田中 健、角 井、田中 健、加賀本、勝 間、植 田、

上 林、澤 田、高橋 倫、岡田 崇、渡 邊、木 村、兼 城 各会員

杉浦会員、横須賀RCにご入会おめでとうございます。心を一つに共に楽しみましょう。

・杉 浦 会員 本日入会させていただきます。皆様のご指導の程よろしくお願いいたします。

・岡田 崇、馬 場、加藤 倫、瀬 戸、田 村、小山 倫 各会員

WBAスーパー&IBF世界バンタム級タイトルマッチ統一王者 井上尚弥VS アラン・デイパエの一戦が両国国技館で12月14日に行われます。絶対王者がどんなKOシーンを見せるか！期待が膨らみます。

・勝 間、福 西 両会員 ロータリーバンドの再開を楽しみに待っています♡

<卓 話> 「Dementia literacy — 正しく認知症を識る — 」

神奈川歯科大学歯学部

臨床科学系医科学講座認知症・高齢者総合内科

教授 眞 鍋 雄 太 様

本日は、今更ながらではございますが、「認知症」というのはどんなものかという事をお話申し上げたいと思います。

本日のお話

- ① 認知症を正しく識る
- ② 認知症の似非科学
- ③ 正しい認知症予防

① 認知症を正しく識る

認知症というのは・・・生まれた後、成長する過程で後天的に獲得した脳の機能。

認知機能とは・・・考える、目や耳、皮膚から入ってきた情報を知覚、認識する力。

知覚した物を記憶して保存する。問題や課題を解決する機能。

脳の機能が何らかの病気によって壊され発動しなくなり、社会生活に支障が生じた状態を認知症と言う。

認知症を規定する要素と言うのは、社会生活に支障があるかないか。社会生活を一人で送る事が出来るか出来ないかという事になります。

記憶障害という言葉聞いた事があると思います。実は認知症を構成する要素かも知れませんが、規定する要素ではないんです。ですから「認知症」＝「物忘れ」の事ですよ！は絶対的な間違いなんです。認知症を規定する要素が、記憶障害、物忘れだとすれば・・・大変失礼ではございますが・・・この中の半分以上の方が「認知症」と言う事になってしまうわけです。認知が非常に悪くなってしまった、物忘れがひどくなってしまったとおっしゃる方がいるのですが、それは認知症とは違うんですよと言う事です。

患者様が私の所に持ってきた紹介状をみると診断名に認知症と書いてある事があるのですが、これは状態の事を言っているのであって、疾患が存在しているわけではございません。認知症の状態をきたす病気、疾患と言うのは60数種類ございます。例えばビタミンB欠乏性の認知症の場合、ビタミン剤を頸静脈に投与すれば100%治ります。認知症と一言にくくっても、病気、原因が違うので治療法も全部違うのです。だから診断が必要と言う事になります。

今日のポイントです。認知症を規定する要素はあくまでも社会生活に支障をきたした状態。物忘れ＝認知証ではない！ここだけを覚えてお帰り頂ければ私としては、今日は満足です。

② 認知症の似非科学



どのような情報を信じて、何をしたらいいのか。YouTube でレビー小体型認知症という風に入力すると正式な物がかなり下の方に出てきます。良くわからない物が上位に出てきます。ですからネットと言うのは玉石混淆だと言う事ですね。医師の世界と言うのは徒弟制度です。誰の弟子か、どこの学科に属しているか、何処で研究したか、留学は何処にしたか、アカデミアか否か、学生さんを教えているかとか、こう言った事がアカデミアの中では重要になってきます。専門医というのは各学会で認定されて対象疾患、あるいは臓器に精通した医師の事を指します。認知症性疾患の専門学会と言った場合は「日本認知症学会」と「日本老年精神医学会」の2つです。前者は2000名弱、後者も2000名弱。2つの学会のメンバーはオーバーラップしています。ですから、実際合わせると4000人いないのです。患者さん600万人に対して専門医は4000人いないのです。専門医は確かな情報源を利用して探し出して頂きたいですね。具体的には各学会のHPから専門医名簿を見て探して頂きたいと思います。

③ 正しい認知症予防

何らかの病気の時か病気が経年変化してくる。ここで介入していかないと予防にはならない。重要なのは、一次予防、二次予防。予防介入が可能な原因疾患はアルツハイマー病であり、脳血管性認知症です。脳卒中が原因になりますので、脳卒中を起こさない様な生活習慣を送れば一次予防になります。何でもかんでも認知症は予防出来ると言うのは嘘ですし、誇大です。認知症の中で原因によっては予防できるものもあるし、出来ないものもある。その辺を良く理解して頂きたいです。

まとめとして

- ・認知症を規定する要素は社会生活に支障があるか、ないか
- ・物忘れ＝認知症ではない！
- ・正しい知識で似非科学に騙されない
- ・認知症を予防出来ると言うのは誇大な表現である。出来ないものもある。

原因疾患次第ではかなり予防が出来る。アルツハイマー病脳血管障害認知症というのは予防可能ですよ。実の所アルツハイマーによる認知症が45%で圧倒的に多いです。ですからそう言った意味合いでは、早期から、もろもろのリスクファクターを皆さんの中でチェックしてそれを除去していく様に努めて頂くと、アルツハイマー型認知症の恐怖から逃げる事が出来るという事になります。CMです。物忘れ外来という私の著書ですが、おかげ様で3万部を超えました。ただですね、1冊の印税が80円しか入りませんので、どうぞ今日お話した内容がほとんど書いてございますので、お買い求め頂けるとちょっと私が経済的に助かるかなと言う所でございます。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 大野 健 男